

Confocal
大阪大学生命機能研究科
ライカマイクロシステムズ
共催オンラインセミナー

STED

超解像顕微鏡STEDで研究を深めよう！

超解像顕微鏡STEDは平面分解能50nm以下を実現し、従来の光学顕微鏡では見えない細部まで観察することができます。昨今世界では、STEDによる新たな研究結果が発表され、生命科学の新たな発見に欠かせない顕微鏡となっています。また、STED顕微鏡のベースとなる、ライカ共焦点顕微鏡STELLARISは、共焦点超解像撮影を標準装備し、昨今のトレンドとなる広視野・高解像・マルチカラーイメージングを容易に実現します。このたび大阪大学生命機能研究科様に、STELLARIS STED顕微鏡を期間限定で設置させていただきます。これを機に、STEDのポテンシャルをより多くの研究者の方にお届けしたく、ウェビナーを開催いたします。

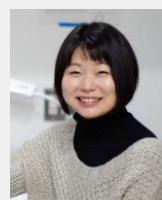
超解像 + 蛍光寿命でイメージングは劇的に変わる！

演題①

「1細胞解像度で観る毛包発生のしくみ」

森田 梨津子先生

大阪大学大学院生命機能研究科幹細胞恒常性システム研究室

**演題②**

「超解像技術と蛍光寿命を用いた 最新バイオイメージングの実用例と展望（仮題）」

岡田 康志先生

理化学研究所 生命機能科学研究センター 細胞極性統御研究チーム
東京大学大学院医学系研究科 細胞生物学分野
東京大学大学院理学系研究科 物理学教室

**演題③**

「ライカマイクロシステムズから、蛍光寿命を活用した STED超解像度顕微鏡技術のご提案」

波田野 俊之 ライカマイクロシステムズ株式会社

■ 日時：2026年2月9日（月）15:00-16:00

■ 開催方法：Webミーティング（Zoom）

■ 参加方法：事前登録制です。【締め切り】2026年2月6日（金）

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_o6puLTX4RU6woN07nRQgJg



お問い合わせ先：

衣川 俊也、田中晋太朗 email: lmclsr@leica-microsystems.com

ライカマイクロシステムズ株式会社